



# 町政覚え書き

大河原町長 伊勢 敏

## 第41回 大河原町の将来を考える

～合併60周年を機に町の将来を考える

『地方拠点都市』作りに本町の土地利用計画の策定は必要不可欠～

昭和31年（1956年）9月30日に旧大河原町と金ヶ瀬村が合併し、新制大河原町が発足してから満60年になる。新制大河原町は約1万6千の人口でスタート、平成20年まではほぼ順調に増え続け、平成21～23年に減少したものの、平成24年以降は持ち直し、ここ数年は約2万3700人で推移している。

さて、この60年間で我が国人口は約4割増加した。一方、本町の人口は約5割増加、国の増加率を上回る。わが国はこの60年間、工業化を中心とする産業構造の激変に伴い、地方から都会への人口移動が起こった。このような時代潮流にもかかわらず、地方である本町が人口増加率で全国平均を上回ることができた。このことは、本町の「勢いと発展の歴史」を証明し、60年の歴史を振り返るに当たり、特筆すべきことだと考える。

今、町長室にある昨年9月撮影の本町の航空写真を眺めている。約25<sup>+</sup>平方メートルの約半分に住宅が連なっており、そこに町民の9割以上が

住み、いわゆるコンパクトシティが既に出来上がっている。その理由の一つに長く受け継がれてきた土地区画整理事業、すなわち、人口増加の受け皿づくりがあった。そこで、本町の土地区画整理事業を振り返ってみよう。

昭和32年から平成26年までの57年間にわたり17地区の土地区画整理事業により、市街地の整備が進められた。土地区画整理が施行された総面積は333.9ヘクタールに上り、市街地が相互につながり、まとまりのある大きな市街地が形成された。とくに、最後（17番目）となった広表土地区画整理事業は、国道4号下り車線沿いの金ヶ瀬地域の市街地及び大河原地域の市街地を連結させる位置にあり、合併60周年を振り返るにおいて、象徴的な事業と言えよう。

ところで、平成13年に策定された第3次国土利用計画を最後に、現在、大河原町には国土（以下、土地と置き換える）利用計画がない。本町のこれまでの勢い及び発展、人口増を支えてきた

土地区画整理事業を考えると、新たな土地利用計画の策定は必要不可欠と考える。平成30年度を初年度とする第6次長期総合計画を策定するため、今年度から、長期総合計画策定の準備に着手することとなっている。

これに合わせて、と言うより、長期総合計画を策定するために、土地利用計画、都市計画を併せて策定することが重要である。

開かれた先進のまちを実現するため、また、NEXT大河原ゆめプランの7番目の重点プロジェクト「大河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略」が目指す町の将来像「活力ある健康都市」の基本目標である「仕事をつくる」や「定住者を増やす」を実現するには、新たな工業用地や住宅地の確保が必要となる。

人口減少の時代を迎え、単独の自治体では不可能なことを可能にする広域連携は、今後ますます重要になろう。広域の人口の受け皿となる本町の可能性、つまり、県南における『地方拠点都市』を模索したい。

【8月22日】

**一般／■スマホ断食** 【潮出版社】  
藤原 智美／著  
問いかければいつも答えが返ってくる、居心地のいいネットの世界。個の存在とは何なのか。人類はネットとどうつきあっていくべきなのか。芥川賞作家によるネット社会批判。

**小説／■すしそばてんぷら**  
藤野 千夜／著 【角川春樹事務所】  
テレビ番組でお天気姉さんをしている寿々は、ブログ「江戸まちめぐり」を開設することに。一緒に住むおばあちゃん「江戸の味」を求めて浅草、日本橋、神田へ…。

**児童／■ひみつのはやくわく七つづき**  
如月かずさ／作 はたこうじろう／絵 【小峰書店】  
小学校でうわさになって七不思議のこわい話。学校の怪談をめぐることになった、サキちゃんとノダちゃんは…。小学生のサキちゃんと思議な女の子ノダちゃんの楽しいお話3つを収録。

**絵本／■あそぼうーむしのもり**  
タダ サトシ／作 【小学館】  
さっちゃんとオオクワくんが、かくれんぼをしています。オオクワくんは、さっちゃんをなかなかみつけれず、「むしのもりのかくれんぼ」「かめむしのはやし」など全4話を収録。クイズも掲載。

駅前図書館今月の新刊「まちの本棚」

### しっかり歩き（早足）で病気予防…目安

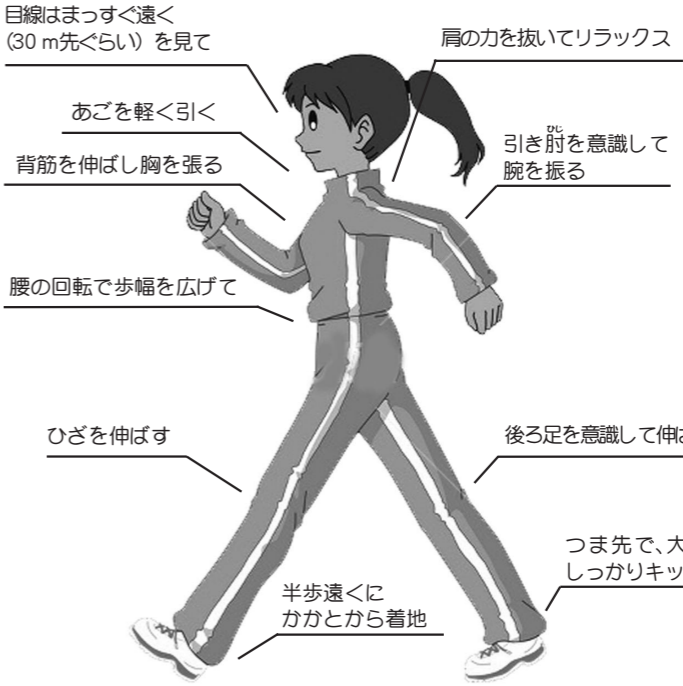
#### 1日あたりの歩数としっかり歩きの時間

- 1日 4,000歩 / 5分以上  
うつ病など心の障害予防
- 1日 5,000歩 / 7.5分以上  
認知症・心疾患・脳卒中の予防
- 1日 7,000歩 / 15分以上  
骨粗しょう症・動脈硬化・ロコモ予防（※1）
- 1日 8,000歩 / 20分以上  
体力低下・糖尿病・高血圧の予防
- 1日 10,000歩 / 30分以上  
メタボリックシンドロームの予防

引用：高齢者の日常的な身体活動と心身の健康に関する学術研究

町では、健康増進に向けて歩くことをお勧めしています。

#### ウォーキングフォームのポイント



## 正しい歩き方を身につけてみましょう

歩き方が悪いと、関節や腰を痛めることがあります。正しい歩き方を覚えると、姿勢がよくなり、体も引き締まります。体重が減ったり、体力がついたりすると楽しく参加でき、病気の予防にもつながります。下記教室に参加して、正しい歩き方を身につけましょう。

ノルディックウォークも楽しいですよ



スキーのストックのようなポールを握って歩く「ノルディックウォーク」も密かな健康ブームとなっています。誰でも簡単に始められ、効果的な有酸素運動として、下半身だけでなく腕、上半身の筋肉などの全身運動ができます。また、適正な長さのポールを持つことにより、背筋が伸び、左右のバランスが保つ身体への矯正にも役立ちます。その他の効果、効能は次のとおりです。

- ① バランスがとれて歩きやすい
  - ② 姿勢がよくなり歩幅が広がる
  - ③ 首や肩の筋肉の血行がよくなる
  - ④ 胸を開いて呼吸が楽になる
  - ⑤ 下半身にかかる負担が軽く、長時間の歩行が可能
  - ⑥ ウォーキングよりエネルギー消費量が20%増。メタボ対策に最適
  - ⑦ デスクワークの多い方の腰痛防止
  - ⑧ 全身引き締め、シェイプアップ効果
- 体験は下記講座にお申し込みを。

### ウォーキング & ノルディックウォーク教室

町の運動啓発事業の委託を受けて、NPO大河原町スポーツ振興アカデミーでは、ウォーキング教室とノルディックウォーク教室を行います。正しい歩き方を覚えて、町内のウォーキングコースを歩いてみませんか。一緒にノルディックウォークの教室も同時開催。初めての方でも大丈夫です。講師がポールを使った歩き方を教えてくれます。ぜひ、お申し込みください。

#### 募集1 ウォーキング教室（全3回）

- 10月8日（土） 午前10時～正午
  - 10月29日（土） 午前10時～正午
  - 11月12日（土） 午前10時～正午
- 参加料 無料  
※運動しやすい服装・靴、飲み物、タオルなど準備願います。

#### 募集2 ノルディックウォーク教室（全3回）

- 10月8日（土） 午前10時～正午
  - 10月29日（土） 午前10時～正午
  - 11月12日（土） 午前10時～正午
- 参加料 無料  
※ポールは無料貸出。運動しやすい服装、靴、飲み物、タオルなど準備願います。
- 【申し込み】 NPO大河原町スポーツ振興アカデミー（総合体育館）に直接、またはお電話（☎531-1010）でお申し込みください。

（※1）ロコモティブシンドローム（略称：ロコモ、和名：運動器症候群）ロコモは筋肉、骨、関節、軟骨、椎間板といった運動器のいずれか、あるいは複数に障害が起こり、「立つ」「歩く」といった機能が低下している状態をいいます。